

普及活動情勢報告（令和7年7月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

人材の確保に向けて！

～令和7年度 第1回幡多地域法人連絡協議会～



6月17日、中村合同庁舎で、令和7年度第1回幡多地域法人連絡協議会を開催し、管内集落営農法人9組織、関係機関20名が出席しました。

農業改良普及課からは、今年度の水稻の実証試験計画、剰余金処分のあり方等について情報提供し、「人材確保・雇用に向けて」をテーマにワークショップを行いました。

出席者からは、「他の法人の取組について知ることができて良かった」、「現状の各組織の問題点についても議論したい」等の声が聞かれました。

今後も法人組織の経営安定に向けて、支援していきます。

今作はどんな年だった？

～JA高知県中村支所いちご部会総会及び反省会～



6月20日、JA高知県中村グリーンセンターで、JA高知県中村支所いちご部会総会及び反省会が開催され、生産者7名、関係機関9名が参加しました。

農業改良普及課からは、今作の振り返りと高温対策、農福連携の事例等について説明を行いました。

生産者からは、「定植後もハウス内がかなり暑かった」、「高温に耐性のある品種があれば知りたい」等の声がありました。

今後も関係機関と連携し、収量・品質の向上に向けて支援していきます。

シシトウの出荷が始まりました

～JA高知県三崎出張所シシトウ目慣らし会～



6月20日、JA高知県下ノ加江事業所で、シシトウ目慣らし会が開催され、生産者10名、選果員2名、関係機関4名が参加しました。

農業改良普及課からは、整枝管理と高温対策、熱中症対策の義務化等について説明しました。

生産者からは、「かん水のタイミングはいつが一番良いか」、「高温対策の寒冷紗被覆は必須だと思う」などの質問や意見がありました。

今後も関係機関と連携し、収量・品質の向上に向けて個別巡回等により、夏期の高温対策を中心とした栽培管理の指導に取り組んでいきます。

中山間地域等直接支払制度を活用するぞ

～（株）大宮産業 通常総会～



6月22日、四万十市西土佐大宮中集会所で、通常総会が開催され、株主25名、関係機関1名が参加しました。

農業改良普及課からは、（株）大宮産業が新しく導入したライスセンターの収支や経営計画等について説明しました。

株主からは、「中山間地域等直接支払制度の加算金が記載されているが、用途は決まっているのか」、「ネットワーク化加算を活用して共同で活動をしていきたい」等の意見がありました。

今後も関係機関と連携し、組織運営を支援していきます。

R7園芸年度の振り返り

～JA高知県中村・大方ピーマン部会反省会～



6月27日、JA高知県中村集出荷場で、JA高知県中村・大方ピーマン部会反省会が開催され、生産者12名、関係機関3名が参加しました。

農業改良普及課からは、R7園芸年度栽培の振り返りと高温・病害虫対策、熱中症対策について説明を行いました。

生産者からは、「定植後の遮光はいつまでしたらいいか」、「天窗の防虫ネットの巻き込みを防止する方法はないか」等の意見がありました。

今後も関係機関と連携し、個別巡回等により収量・品質の向上に向けて支援していきます。

ぶしゅかんの栽培技術向上に向けて

～四万十ぶしゅかん生産者組合総会～



6月29日、四万十市役所で、四万十ぶしゅかん生産者組合総会が開催され、生産者29名、関係機関5名が参加しました。

農業改良普及課からは、ぶしゅかんにおける病害虫について情報提供しました。

生産者からは、「幼木のときはどのような管理をすればいいか」、「成木時の害虫の対策が分からない」等の意見があり、肥培管理や病害虫対策について説明しました。

今後も関係機関と連携し、ほ場巡回等で組合員の栽培技術向上に向けて支援していきます。

今作を振り返って次作に備えよう

～若手キュウリ勉強会～



6月30日、JA高知県大方支所構造改善センターで、若手キュウリ勉強会を開催し、生産者21名、関係機関6名が参加しました。

農業改良普及課からは、今作の気象の振り返りと他産地のデータを含めた収量比較、生育調査データを用いたキュウリの樹姿の目安について情報提供しました。

生産者からは、「べと病対策についても教えてほしい」、「春野と幡多の栽培方法の違いは何か」といった要望や質問がありました。

今後も現地検討会を開催し、若手キュウリ生産者の収量向上に向けて支援していきます。

総会・研修会の開催

～高知県農村女性リーダーネットワーク～



7月1日、令和6年度高知県農村女性リーダーネットワーク総会・研修会がしまんとびあで開催され、生産者40名、関係機関11名が参加しました。

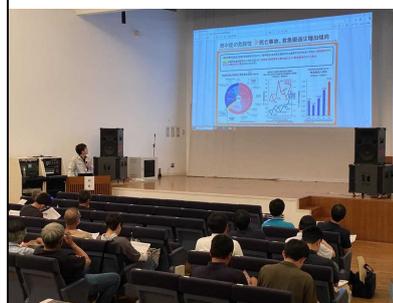
農業改良普及課は、開催に向けた準備を支援しました。

総会後は、女性の農業委員登用の推進についての紹介、まちのデザイン室、小谷優美氏による研修「空想をカタチにする力」があり、参加者は、想いを言葉にして共有すること、共感を広げてみんなで一緒に活動することの大切さに共感していました。

今後も、農村女性リーダーの農産物の活用に関する活動を支援していきます。

今年の振り返りと次作にむけて

～幡多地区きゅうり研修会～



7月2日、黒潮町立大方あかつき館で、きゅうり研修会が開催され、幡多管内のキュウリ生産者36名、関係機関20名が参加しました。

農業改良普及課からは、今年発生した主な病害虫とその対策、土壌還元処理、熱中症対策について報告や紹介を行いました。

生産者からは、「熱中症の予防として実際に行われている対策はなにか」との質問がありました。

今後は巡回を通して、来作の準備状況を確認するとともに、熱中症予防の啓発を合わせて行っていきます。

今年の栽培を振り返って ～ J A 高知県大方支所園芸部オクラ部会出荷反省会～



7月10日、J A 高知県大方支所構造改善センターで、オクラの出荷反省会が開催され、生産者9名、関係機関3名が参加しました。

農業改良普及課からは、日中の温度管理方法の改善試験結果や各生産者の節間伸長状況を報告しました。

生産者からは、出荷資材の変更による問題点の整理や、高収量で品質が良く節間伸長の短い新品種の導入における調査、検討について要望がありました。

今後も関係機関と連携して、オクラの栽培技術の向上に向けて支援していきます。